

TENPLANET

Collaboration with Astronomy Students and Planetariums

vol. 02

2004 June

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/~takanashi/tenpla/>

[天文学とプラネタリウム] 広報誌 **テンプラネット** 第2号

© 天プラ広報誌編集委員会 2004 [発行人] 天プラ広報誌編集委員会 [e-mail] takanashi-tenpla@ioa.s.u-tokyo.ac.jp

index

- 天プラ紹介■■ **天プラの手引き**
tenpla Q&A
- おもしろ計画■■ **あすとろかるた**

- ヒロガル天プラNETWORK■■
『天プラをきっかけとした「子ども天文教室」での講演』
- 天文を届ける仲間たち■■
かつしか天文セミナー

学生や科学館が持つ知識・資料・ノウハウなどを、アクセスしやすい場に集積し、共有財産とすることも天プラ

情報のアーカイブ

このような交流の場に多くの人が集まることによって、これまであまり太いパイプがなかった学生・科学館の間がつながれ、科学館でのイベントへの協力や斬新な企画の立案などが可能になると考えています。実際に、3面で紹介する相模原市立博物館や明石市立天文科学館での協力事例がすでに天プラから生まれました。今後はもっと色々な場所、そして色々な形での協力が生まれていくことと思います。

いろいろな人を結びつける「場」

メーリングリストやウェブ上の掲示板、あるいはプラネタリウム見学会などを通じて、様々な専門・特技を持つ人たちが知り合い、これまでにないような新しい切り口、新しい視点に立った天文学の普及活動が生まれる「場」になること。これが天プラの目標です。天文学や科学コミュニケーション分野の分野はもちろん、美術、教育、マネジメントなどの色々な分野から、「天文学の普及」をキーワードに色々な人が集まって交流・連携できる場を目指します。



天プラの手引き

の目標の一つです。すでにPAONETに代表される天文画像の集積組織は存在しますが、天プラではより専門性が活かせるもの、気軽に使ってもらえるものを作りたいと思います。たとえば、

- ・観測施設/観測風景などの写真
- ・天文学の研究現場に近い学生には、世界のいろいろな天文学研究施設を訪れる機会があります。そのような場所で行われる研究の様子を写した写真は、天文学が日進月歩であることを伝えてくれます。このような場に立ち会うことができる学生の強みを活かして、「天文学のナマの姿」を伝える写真を共有したいと思っています。
- ・パワーポイント形式の天文クイズ
- ・PowerPoint形式のクイズを作成・収集し、プラネタリウム開演前に、あるいは展示物のひとつとして、自由に使用していただける素材を提供したいと思っています。

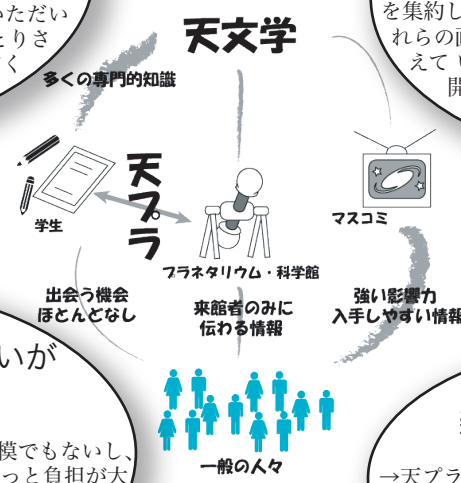
他にも、ウェブページや広報誌などで使えるイラスト集や天文学の解説をするための小物集など、天文学の普及に使える道具・素材を集め、多くの方に使ってもらえるところにおいておきたいことを目指します。

どんな情報がやりとりされているのかを知りたい

→どんな人間がなにをしているのかわからないと、何事もなかなか参加しにくいものです。とりあえず、メーリングリストをメルマガ的に購読していただいても構いません。どのような話題がやりとりされているのかを見て、色々と考えてみてください。

番組やポスター作成のための画像が欲しい

→現在天プラでは、学生ならではこそ撮ってこれる画像を集約し、データベース化することを考えています。これらの画像は、フリーで使用できるようにしようと考えています。プロトタイプが天プラのWEBにて公開されていますので参照してみてください。



ミニ天文教室をやりたいが講師の当てがない

→わざわざ一線の研究者を呼ぶほどの規模でもないし、かといって専門外の人間がやるにはちょっと負担が大きい。こんな場合は、それを専門とする学生を呼んでみてはどうでしょうか？天プラには依頼があれば引き受けたい、という学生も数多く在籍します。

新しい企画案を練りたい

→天プラでは、様々な視点から新たな天文学の普及方法を考えています。WEBやMLを覗いて、面白そうなアイデアは積極的に利用してみたいはいかがですか？